

慈恩寺中だより

学校教育目標 「自主・自立をめざす生徒」（自ら学び、正しく判断し、実行する生徒の育成）

笑顔が最高の教育

校長 高波 國夫

あったか〜い笑顔あふれる慈恩寺中！
本当に最高です。温かい笑顔に包まれた教室で、
仲間と楽しそうに会話する子どもたち。
朝から笑顔で声を掛け合う先生方。学校の中に、
やさしく前向きな空気が広がり、笑顔があふれて
いることを日々感じています。

先日、ある方とお話する中で、私は本校の印象
をこのように伝えました。

「笑顔があふれていて、とてもいい学校です。」
するとその方から、「それが一番ですね。笑顔が最高の教育ですから……。」
と、アドバイスをいただきました。笑顔かと、改めて考えさせられました。
「互いを認め合うからこそ、笑顔が生まれ、安心できる雰囲気育つ。
笑顔があるから挑戦する勇気が湧き、失敗しても、また立ち上がることができる。
その勇気が行動につながり、行動が新たな笑顔を生む。」
笑顔が広がっていくことこそが、本当に大切なことなのだと、改めて感じました。



さて、5月の生活目標は「仲間と一致団結」です。
5月は、体育祭に向けた取組をはじめ、授業や部活動、生徒会活動など、仲間と
力を合わせる場面が多くなっていきます。意見が違ったり、思い通りにいかなか
ったりすることもあるでしょう。そんなときこそ、「相手の居心地のよさ」も考
え、声を掛け合い、支え合えるといいですね。

「一致団結」とは、「みんな同じであること」ではありません。
それぞれの考えや得意を大切にしながら、目的に向かって力を合わせることです。
仲間の良いところを認め合い、助け合う中に、自然と笑顔が生まれます。
その笑顔こそが、集団を一つにする大きな力になります。

こうした生活の中で、皆さんはさまざまな選択や判断に出会うことでしょう。
そんなとき、次のような考え方はどうでしょう。

自分を、周りを、笑顔にする「何事も面白い、考え方5」

- 1 迷ったら「消極的」より「積極的」な行動を優先する（やってみると、意外と面白い）
- 2 「できない理由」を探すより、「できる方法」を考える（視点を変えると、面白さ倍増）
- 3 「部分最適」より「全体最適」も意識する（人も喜んでくれると、さらに面白さは倍増）
- 4 「〇〇しかない」より、「〇〇もある」と考える（まだまだチャンス広がる面白さ）
- 5 悪口を言うより、「良いところ」を見つけて誉める（プラスの会話は周りも自分も楽しくなる）

どれか一つでも、生活の中で使えるものがあれば、ぜひ試してみてください。

最後に、心と「君が笑えば この世界中 もっと もっと 幸せ広がる〜」
という、歌手・AIの『ハピネス』のフレーズが心に浮かびました。

5月。子どもたちの成長のために、どんなときも笑顔を忘れず、子どもたちを
育てていきたい。そんな思いを新たにしました。